

ダム工学会 第5回 若手技術者のためのダム見学会 開催のお知らせ

～ダム水理模型・耐震実験施設等の見学～

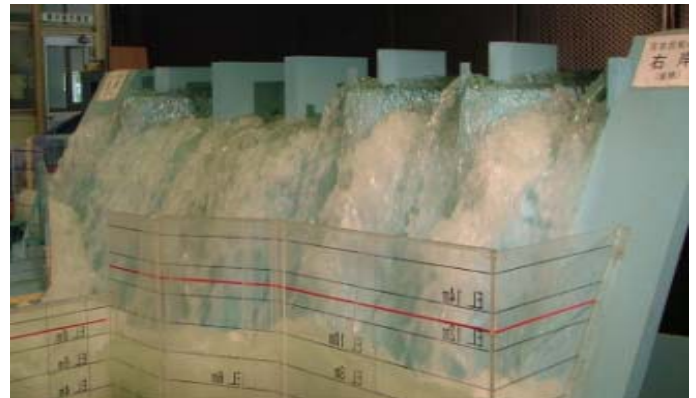
土木研究所は土木技術に関する研究開発、技術指導等を行うことにより、土木技術の向上や良質な社会資本の整備をすることを目的として設置された研究所です。土木研究所には土木に関する多くの実験施設がありますが、これらのうちダム水理模型実験施設は、ダム貯水池の水理的な現象や洪水吐き、放流施設、取水設備等の施設に関する調査・研究に利用されています。国土交通省のダムの洪水吐きや放流設備のほとんどが土木研究所の実験施設で行われた模型実験をとおして水理設計が行われています。

現在、ダム水理模型実験施設では鹿野川ダムにおけるトンネル洪水吐きの実験、鶴田ダムにおける放流管増設に伴う減勢工の形状に関する実験、新しい形式である治水専用ダムの放流設備に関する実験などを実施しております。

見学会で、普段見ることのできない実験施設を見学し、ダムの設計の過程を勉強してみませんか。また、見学会においては耐震実験施設などダム関係以外の実験施設も見学する予定です。皆様のふるってのご参加を心よりお待ちしております。



(ダム水理模型施設)



(ラビリンス式越流頂の実験状況)

◆第5回 若手技術者のためのダム見学会開催要項

- ①開催日：平成23年7月7日(木) 雨天決行
- ②見学地：土木研究所 (茨城県つくば市)
- ③募集人数：50名 (ダム工学会員以外の方も参加可能です。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください)
※定員になり次第、締切とさせていただきますので、お早めにご応募ください。
- ④申込期限：平成23年7月 1日(金)
- ⑤申込方法：申込用紙に所定事項をご記入のうえ FAX または メール 願います。
- ⑥申込先：〒110-0008東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
TEL：03(5815)4161 FAX：03(5815)4162
財団法人ダム技術センター内 ダム工学会 袴田宛 E-MAIL：damko_wakate@jdec.or.jp
- ⑦集合・解散：東京駅近く鍛冶橋駐車場 集合 10:30、解散 17:30
- ⑧服装など：動きやすい服装でお願いします。雨天の際は傘等もご用意ください。
- ⑨参加費：学生の方は無料です。一般の方はダム工学会員1,000円、非会員2,000円です。
(当日受付時に徴収いたします。参加費の内訳は旅行保険料・昼食代等です。)

⑩見学行程

項目	時刻	参考
集合鍛冶橋駐車場	10:30 集合・出発	鍛冶橋駐車場 (別添参照)
土木研究所着	～13:00	貸切バス移動・昼食
各実験施設見学	13:00～16:00	実験施設見学 (予定)
土木研究所発	16:00～	貸切バス移動
解散 東京駅	17:30 解散	

- ⑪その他：本見学会はCPDプログラム申請予定です

FAX: 03-5815-4162

E-Mail: damko_wakate@jdec.or.jp

財団法人 ダム技術センター内 ダム工学会 袴田 行

ダム工学会 第5回 若手技術者のためのダム見学会 参加申込書

①所 属 _____

②氏 名 _____ 年齢 (才) (会 員 ・ 非 会 員)

(複数の場合: 代表者名)

※ダム工学会員又は非会員のいずれかに○を付けてください。

③連 絡 先 Tel : _____ FAX : _____

E-mail : _____

④参 加 人 数 _____ 人

⑤参 加 者 名 (グループで参加される場合)

所属・役職等	氏 名 (会員又は非会員に○を記入)	年 齢	連 絡 先 (上記と異なる場合)	希望する通信方法 (FAX又はE-Mailに○を記入)
	会員 ・ 非会員			FAX ・ E-Mail
	会員 ・ 非会員			
	会員 ・ 非会員			
	会員 ・ 非会員			

※1 欄が不足する場合はこの用紙をコピーして使用してください。

※2 参加申込を受領後、代表者様宛てにFAXまたはE-Mailにて受付確認の連絡をさせていただきます。
集合場所等の詳細を記載した案内をあわせて送付致します。

ダム工学会は「技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元」を活動の目標としてさまざまな活動を行っています。本見学会はこの一環であり、土木工学を学ぶ学生や若手のダム技術者を対象としております。

【若手技術者のためのダム見学会の趣旨】

- ☞ ダム見学を通して、ダム事業の目的や効果、ダムの構造や施工、管理の方法など、様々な視点からダムについて学ぶ場を提供します。
- ☞ ダム見学やダム事業に関わる先輩技術者との対話をとおしてダムに関わる仕事の魅力を紹介します。
- ☞ 学・官・民の若手技術者の連携・交流を深める場を提供し、ダム工学に関わる技術者の活性化を促します。